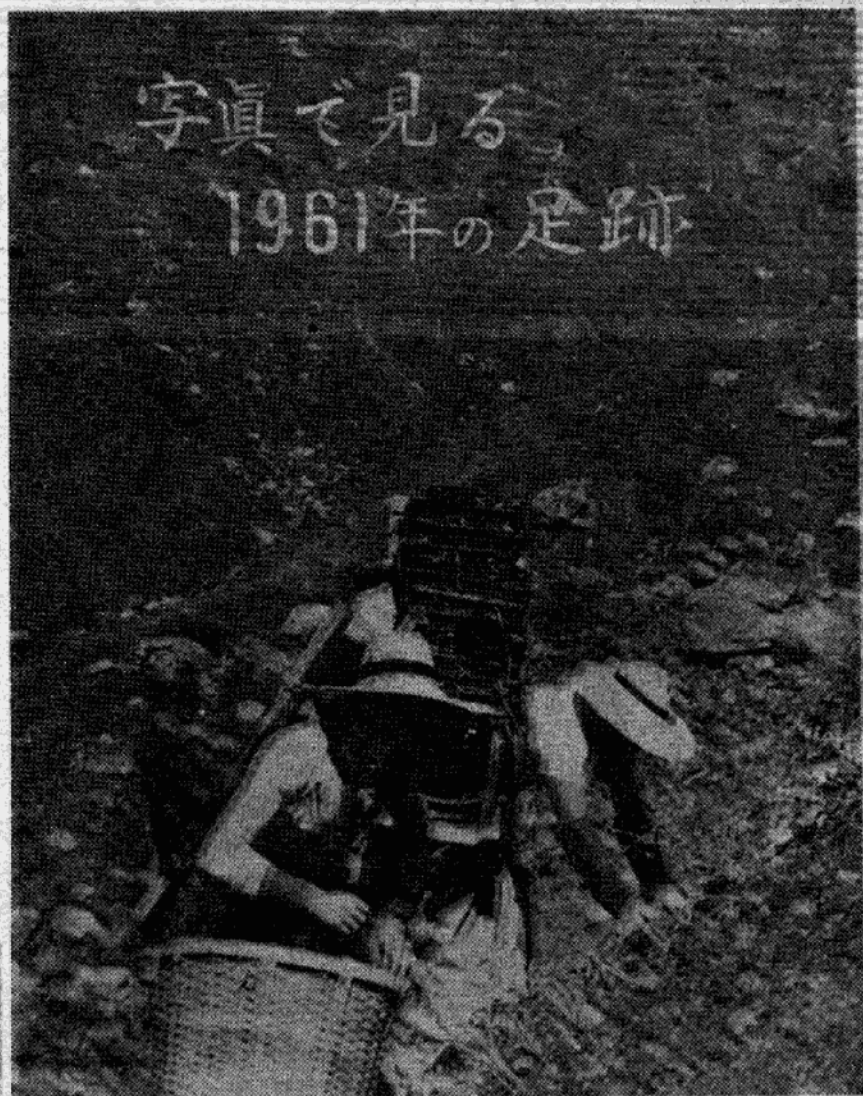




↑ オリンピック招致

第10回オリンピック冬季競技大会を、日光に招致するための第一段階として、1月からの実地調査が行われた。この調査に参加した人員は、延三〇五人、厳冬期のさなか、吹雪をうけての苦闘であった。日光の将来のために、この調査に参加したすべての人々の熱意と努力で、なんとか日光へオリンピックをもつて来よう、努力がはらわれた。

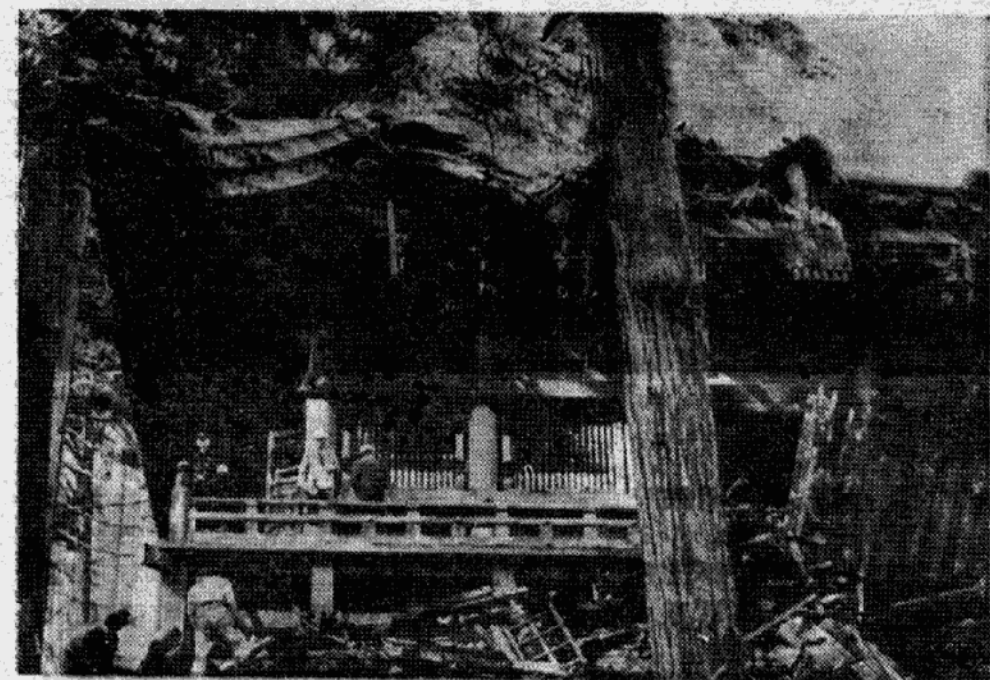


↑ 和の代林道完成

長い年月と、多額の費用をつぎ込んだ「和の代林道」は2月13日、ついに完成した。この道路の総延長は、林道部分四千九百二十三メートル、市道部分四百四十九メートルで計五千四百三十二メートル。工費は四千四百四十万七千円かかった。

↓ 大雑に植林

男体山大雑治山のため、前橋営林局では、植入盤を植えつけ見事に成功した。



↑ 本地堂焼く

3月15日夜、鳴き竜で知られる薬師堂が焼けた。消火には全力を挙げたが、たが、特殊な建物のため鎮火したのは翌日午前7時ころ。惜しむてもあまりある本地堂の焼失に、市議会でも、さっそく復元問題をとりあげ万場一致で決議した。

↓ 三仏堂完成

昭和29年から7年がかりで、大改修が行われていた三仏堂は、3月完成し5月2日の強飯式の日から公開された。間口三十二、七メートル、奥行二十五、五メートルの鋼カワラぶきの二重屋根、総塗塗日光山第一の大からん。本尊は、阿弥陀如来、平手観音、馬頭観世音の三仏で、それぞれ八、五メートルの座像である。



↓ 日光橋のかけ替え

5月、県が国庫補助事業として認可があり、総工費五千五百万円、日光橋のかけ替えが着工された。これは明年3月に完成する予定であるが、新しい橋は、西町側が三十一メートル、東町側は十六メートルのバチ形になるので、観光最盛期における交通の難所も来年からの完成により緩和されることになろう。

